

新地震体験車 お披露日

静岡文化芸術大生デザイン 中 区



静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生が塗装デザインを担当した県の新型地震体験車のお披露目が25日、同大で開かれた。新型車両の導入に伴い、車両を管理する県西部地域局が同大にデザインを依頼し、デザイン学部4年の横田理絵子さんと大坪史明さんが担当した。新しい地震体験車は県旗にちなんだオレンジ色がデザインした新型地震体験車のお披露目会。浜松市中区の静岡文化芸術大

ジ色の車体の特徴。側面には地震の際に取るべき行動「しゃがむ」「頭を隠す」「動かない」をシンプルなイラストで表現している。反対側の側面には、走行中も美しく見えるよう、地震の波形をイメージした波模様を描いた。2人は「地域の人に親しんでもらえるデザインを目指した」と話した。

体験車では震度1〜7までの揺れを体験できる。車内で流れるアナウンスは5カ国語に対応。県西部に多い外国人も含め、幅広い人に地震防災を学んでもらう。5月から県西部の学校や企業などの防災啓発活動で本格運用する予定という。

(浜松総局・土屋咲花)